大仙市立西仙北中学校
羽ばたこう 立志の丘から
学校通信
平成２７年１２月７日
No.３３

指導主事訪問（授業を見てもらいました）

11月27日は大仙市教育委員会の高橋指導主事と築地指導主事が学校を訪問してくださいました。

高橋指導主事からは１年Ｂ組の道徳の時間を見ていただきご指導をいただきました。道徳の時間は、平成27年3月に学校教育法施行規則が改正され

「特別の教科道徳」とされ、これまで以上に「考える道徳」「議論する道徳」として、答えが一つでない道徳的な課題について、生徒が自分自身の問題として捉えるような授業が望まれております。当日は１年Ｂ組の生徒が学級担任の佐々木先生とともに、「人生を切り拓く」ということについて考えました。

築地指導主事からは、２年Ａ組の特別活動の授業を見ていただきご指導をいただきました。特別活動は、合意形成を図ったり自己決定につなげたりする話合い活動や集団生活の実践を通して、望ましい人間関係づくり、学習や生活へのよりよい方向付け、健康や安全の確保などを行い、学級・学校の文化を創る学習活動であります。当日は、２年Ａ組の生徒が学級担任の後松先生とともに、３年生から引き継いだ生徒会活動等を踏まえ、これからみんなで頑張る学級づくりをするためにどうするべきという話合いが行われました。

お二人の指導主事からは、自分の思いをしっかり述べることのできる生徒たちで、話合いも自分たちの課題として、よりよい方向を目指すものであったと褒めていただきました。また、先生方には学校生活の基盤となる特別活動の指導の在り方やその内容の具体、「道徳科」の今後の方向性などについて最新の情報を交えて指導していただきました。指導いただいたことを生徒とともに学校全体で実践していきたいと思います。高橋指導主事、築地指導主事、ご指導ありがとうございました。

PTA連合会研修　西仙北小で開催

11月30日、大仙市ＰＴＡ連合会第20回研修会が、西仙北小学校を会場に開催されました。この研修会は、平成20年度に組織された大仙市ＰＴＡ連合会の研修として続けられている視察研修で、これまでは、統合開校の協和小学校、学校支援地域本部事業を展開している神岡小学校、外国語活動にいち早く取り組んだ横堀小学校、環境教育のパイオニアである藤木小学校、そして、昨年度は小・中連携として東日本大震災の被災地との交流等を行っている南外小学校で行われてきました。

今回は、小・中連携、そして地域に開かれた学校づくりというテーマで西仙北小学校において授業参観と、これまでの取組や教育活動を発表して会員の研修を行いました。同時期に統合開校した本校の取組についても発表しました。

地域の協力を得るとともに、地域に貢献できる学校づくりという双方向の連携を目指し、また「刈和野大綱引き」などを題材としたふるさと学習、小・中で授業スタイルを統一して子どもたちの学びの連続性を図る研究、ボランティア活動や福祉活動などの取組、家庭学習の在り方や実際の進め方などを澁江西仙北小学校長と本校校長が発表しました。

また、戸島西仙北小学校ＰＴＡ会長が、大綱引きに係る小・中・高校生の綱よい等への参加について、後藤西仙北中学校ＰＴＡ会長が、実践した避難所開設訓練について説明してくださいました。

なお、吉川大仙市教育長からは、これまでの市教育委員会の方針である「交流と連携」を継続し、さらに中学校区ごとに特色ある教育活動を推進し

ていきたいというお話がありました。また、家庭教育の充実を期すとともに、子育てについて、自主性を重んずるが放任主義ともなってしまう「雑草型」、手をかけ思う方向を目指すが過保護となり角を矯めて牛を殺してしまいかねない「盆栽型」、田畑で作物を育てるように実態に合わせて順々に手をかけていく「園芸型」ということについてご教示いただきました。

美術の研究授業（1A・2B・3A）

12月４日には、国立教育政策研究所研究開発部教育課程研究センター教科調査官の東良先生をはじめ、秋田県、大仙市の教育委員会の指導主事の先生方、また、大仙市教育委員会吉川教育長様にもお出でいただき、１年Ａ組、２年Ｂ組、３年Ａ組の美術の授業を見ていただきました。

本校は、昨年度に引き続き平成27・28年度の２か年にわたり、国立教育政策研究所の「教育課程研究指定校事業【美術科】」の研究指定を受けております。今回の指導は、その中間発表という位置付けで、調査官や指導主事の先生方にたくさんのご指導をいただきました。田中先生は、美術の時間を通して生徒の豊かに生きる力を育てたいと、３年生では「15歳の存在証明～今の自分を形づくるもの」というテーマで、生徒のこれまでの歩みや内面を表現する授業に挑戦しました。生徒は、その表現方法や材料・用具等も含めて、自分を表すものを考え、試行錯誤しながら表現しておりました。また、１年生は「心ひかれる風景」、２年生は「私たちの『新しいたまり場』をつくろう」に挑戦していました。指導の先生方からは題材の魅力等もあるが、生徒一人一人が自分の表したいものをしっかりもって、多様な素材を生かして工夫しながら制作していることをたいへん褒めていただきました。普段の生活や学級生活がしっかりしているからだともお話していただきうれしい一日でした。

PTA授業参観・学年部会

12月２日、冬休みを前にＰＴＡ授業参観及び学年部会が行われました。１年Ａ組は美術「親子ＤＥアートカード」、１年Ｂ組は数学「平面図形」、２年Ａ組は理科「手作りモーターを作ってみよう」、２年Ｂ組は音楽「打楽器のための小品」、３年Ａ組は技術「エコキューブラジオの製作」、３年Ｂ組は英語「関係代名詞の用法」の授業を参観していただきました。美術では、親子で鑑賞カードによる物語作りが行われ、その発想の豊かさに笑顔が見られました。また、２年生の２クラスでも親子で体験ということで、一緒に授業に参加していただき、モーターの完成に歓声が上がり、リズムの難しさに挑戦する真剣な姿も見られました。数学の多面的な見方、英語によるスピーチ、ラジオの回路確認と、どの授業でも意欲的に学習に向かう生徒の姿を見ていただきました。当日は、授業参観・参加を食卓の話題の一つにしていただけたのではないでしょうか。お疲れ様でした。

参観後の学年部会では、各学年ごとに、後期前半の学習・生活の振り返りや冬休みの生活について、また、進路関係や修学旅行等の情報提供とともに今後の取組について話し合われました。ありがとうございました。

税の作文　大仙市長特別賞　3年佐藤君

３年佐藤汰一君が、「平成27年度中学生の税についての作文」コンクールにおいて、大仙市長特別賞を受賞しておりましたが、12月２日、大仙市総務部次長久保江様はじめ３名の税務課職員が来校の上、表彰してくださいました。次長久保江様から

らは、「税のことがしっかり学習されておりすばらしい内容でした。」と言っていただき、佐藤君は、「展示会に行って、改めて自分の作品を見ました。今日は表彰していただきありがとうございます。」と応えました。おめでとうございます。